

令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	杉山
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3630		
事務事業名		4308 公民館管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	010000 公民館管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
<p>公民館は、学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。</p>						<p>市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。公民館の施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。</p> <p>また、施設修繕やLED照明の導入、ガス器具の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行い、維持管理費の長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上を図る。</p>						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<p>使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。全地域公民館で冷暖房等使用料の実費徴収を実施している。</p>	<p>使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。全地域公民館で冷暖房等使用料の実費徴収を実施している。</p>
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
<p>使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。</p>	<p>使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。</p>
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
<p>使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。</p>	<p>使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。</p>

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数					
算式						単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000
	実績	81,251	99,652	141,790	147,004	
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ					
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値に対して20%の増を目標					
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		18,354	18,012
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,743	1,332
一般財源		16,611	16,680
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.7
	会計年度(フル)	0.6	0.6
	会計年度(パート)	1.7	1.8
人 員 コスト	正規職員	4,986.8	4,986.8
	会計年度(フル)	2,670.0	2,670.0
	会計年度(パート)	3,870.9	4,098.6
	計	11,527.7	11,755.4
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		29,881.7	29,767.4

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	9,806	消耗品費920、燃料費417、光熱水費5,893、修繕料2,576
12節 委託費	2,014	清掃業務212、自動扉保守79、電気保安280、樹木伐採1,371、シルバー管理72
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,534	報酬717、旅費45、役務費1,753、使用料及び賃借料2,753、原材料23、備品1,236、公課費8

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	9,190	消耗品費832、燃料費504、光熱水費6,054、修繕料1,800
12節 委託費	1,909	清掃業務231、自動扉保守80、電気保安269、樹木伐採909、シルバー管理420
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	30	防火管理者講習会受講負担金30
その他	6,883	報酬777、旅費50、役務費1,587、使用料及び賃借料3,310、原材料60、備品1,099

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の身近な学習の場、住民自治の拠点として安心安全に使用できる施設整備を推進する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	耐震改修、建替えなど整備済みの施設もあるが、老朽化・経年劣化により修繕等必要な施設も多い。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	諸物価高騰により維持経費の増加が見込まれる。 受益者負担の見直しについては今後検討する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の老朽化に伴う維持管理費の増大が見込まれ、今後の改修等について検討し、方向性を示す必要がある

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
団体や個人が生涯学習や社会教育を学びたい時に地域の拠点となる身近なコミュニティ施設として維持管理に努める必要がある	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
社会教育や地域コミュニティ拠点施設や市民の居場所づくり等施設環境の改善を図る必要がある。各施設の重要度・緊急度・優先度を見極め、身の丈にあった施設管理や修繕の実施。利用料を設定し稼働率を向上する必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	島田 明子
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3630		
事務事業名		4309 公民館活動事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	020000 公民館活動事業										
事業目的						事業概要・効果						
少子高齢化、情報化、国際化など社会環境が急速に変化する中、市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるための事業を推進する。						市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため、成人講座などの各種講座を開催する。また、事業推進にあたっては文化芸術協会、公民分館をはじめとした各種団体と連携を図ることも視野に入れる。 地域づくりを進めるには、住民自らが主体性を持ち活動することが求められる。公民館の講座や事業を通じて市民が得られる達成感や喜びが、市民共創の地域づくりへの力となることが期待できる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術講座等・他課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり 組織改正に伴う事業等の再検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> 各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> 各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり

指 標 名						
生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数						
算 式					単位	人
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000
	実績	81,251	99,652	141,790	147,004	
指標選定の理由						
第6次須坂市総合計画に同じ						
最終年度目標の根拠						
2019年度の現状値とコロナ感染症による受講者減を考慮						
指 標 名						
算 式					単位	
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式					単位	
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		96,781	98,401
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	53	0
一般財源		96,728	98,401
人員数 (人)	正規職員	1.4	0.7
	会計年度(フル)	8.7	7.8
	会計年度(パート)	11.1	10.0
人 員 コスト	正規職員	9,973.6	4,986.8
	会計年度(フル)	38,715.0	34,710.0
	会計年度(パート)	25,274.7	22,770.0
	計	73,963.3	62,466.8
市民一人当たりの経費		3.3	3.1
総額		170,744.3	160,867.8

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,997	講師謝礼1,994
10節 需用費	378	消耗品費324、食糧費54
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	12,625	公運協負担金131、公民分館交付金9,615地域づくり交付金2,850 その他29
その他	81,781	報酬24,378 給料26,269 職員手当等18,864 共済費11,837 その他433

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2,495	講師謝礼2,480
10節 需用費	330	消耗品280、食糧費50
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	13,197	会議負担金197、公民分館交付金10,000、地域づくり交付金3,000
その他	82,379	報酬24,466 給料26,355 職員手当等18,923 共済費12,166 その他469

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	前年度より事業が増加している傾向にある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	時代に沿った、魅力的な講座を企画していた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	新規事業の企画や、地域公民館で合同事業にするなど、創意工夫が見られた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

講座や事業を通し、市民が得られる満足感や喜びが、共創の地域づくりへの一歩になると感じることができた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
公民館利用者を増やすために工夫しながら新規講座等の開催をしている地域公民館がある一方、前年踏襲の事業を実施している地域公民館もあり、やっている館とやっていない館の差がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
2次評価コメント	
市民にとって身近に必要な社会教育事業や居場所づくりにつながる事業を刷新し、厳しい財政状況のもと、事業の目的に照らした成果を総合的に検証し、その必要性・重要性を整理したうえで、事業の進め方を見直す必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	杉山
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3630	
事務事業名		17217 公民館整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	030000 公民館整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域公民館の老朽化に伴う改修等						<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の設置は、社会教育法21条で市町村とされている。公民館は、今後も市民との共創や地域づくり等、地域振興の拠点施設として必要であり、維持改修を計画的に行う。 ・老朽化した照明のLED化を行い、灯具の発火抑止、電力消費量の軽減を図る。地域公民館等(南部)の照明器具LED化。 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
	日野地域公民館及び旭ヶ丘ふれあいプラザ照明器具LED化工事、設計
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
南部地域公民館及び旧上高井郡役所照明器具LED化工事、設計	臥竜山公会堂及び生涯学習センター照明器具LED化工事、設計

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		5,786	0
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	5,100	0
	その他	0	0
一般財源		686	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		5,786.0	0.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	561	委託料561
14節 工事請負費	5,225	南部地域公民館工事請負費5,225
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	2027年の蛍光灯製造終了に向けて、照明器具を順次更新する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	照明器具の更新により貸館の利便性向上に寄与した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	地域公民館の主要施設については整備完了。電力消費量の軽減をはかった。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

公民館施設のLED化を計画的に進めているが財源確保が難しい

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント	
補助財源の見通しが見つからないことから少しずつでも自主財源により生涯学習センターのLED化を実施する予定	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
厳しい財政状況の中で、地域振興の拠点施設として必要性は認められるものの、大・中規模の整備は現時点では困難であるため、施設の重要度や緊急度、優先度などを総合的に勘案し、現実的な範囲で身の丈に合った修繕の実施。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	杉山
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3630		
事務事業名		4316 臥竜山公会堂管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費										
	事業	010000 臥竜山公会堂管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理に努めていく。						自然豊かな臥竜公園に位置することから、市民の憩いの場、交流の場として施設充実を図っていく。 老朽化が進行している大規模施設と広範な敷地について、適切な維持管理を行う。 抜本的見直し（指定管理の導入による経費縮小）の動向に注視しながら、維持管理に係る業務量を精査し、事業費への反映を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
利用者の利便性と安全を考慮した施設の適切な維持管理を実施した。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の適切な維持管理を実施した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。

指標名	臥竜山公会堂の延べ利用者数					
算式						単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	500	500	3,000	3,500	3,500
	実績	1,288	667	1,513	2,919	
指標選定の理由	平成29年度3,062人、平成30年度4,086人、2019年度2,923人、2020年度203人を参考とした。					
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		4,860	4,480
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	221	250
一般財源		4,639	4,230
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.2	0.2
	会計年度(パート)	1.0	1.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	890.0	890.0
	会計年度(パート)	2,277.0	2,277.0
	計	3,167.0	3,167.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		8,027.0	7,647.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,999	消耗品費71、燃料費54、光熱水費1,682、修繕料191
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,861	報酬1,833、職員手当530、共済費348、旅費26、役務費70、使用料及び賃借料24、原材料費29

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,598	消耗品費64、燃料費54、光熱水費1,439、修繕費41
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,882	報酬1,838、職員手当535、共済費350、旅費27、役務費74、使用料及び賃借料29、原材料費29

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	やや低い
評価コメント	多様な目的で利用できる集会場として維持管理を継続している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	2023年度に長机・椅子を購入し、市民の利便性向上を図った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	老朽化が進み、使用料見直しには耐えられない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設のPRや机と椅子での使用形態をPRした結果、使用者が昨年度に比べ約2倍となった。しかし、維持管理費や施設の維持について今後の利用方法やあり方を検討する必要がある

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント	
施設のあり方について方向性示す必要がある。また、LED化については、実施しない方向で良いと思う	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
稼働率拡大に向け施設の在り方の検討が必要。施設の重要度や緊急度、優先度などを総合的に勘案し、現実的な範囲で身の丈に合った管理・修繕の実施。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	杉山
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3630	
事務事業名		17685 臥竜山公会堂整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費										
	事業	020000 臥竜山公会堂整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
施設の老朽化に伴う改修等						臥竜山公会堂は、今後も市民が集う施設として維持改修を計画的に行う。 ・老朽化した照明のLED化を行い、灯具の発火抑止、電力消費量の軽減を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
	LED化設計、同工事

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		0	0
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		0.0	0.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	やや低い
評価コメント	事業先送り	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効ではない
評価コメント	事業先送り	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	事業先送り	

振り返り（決算年度の取組み課題）

LED化や屋根の塗装等の施設改修が予想されるが、施設のあり方や使用方法など検討する必要がある

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント	
施設の使用方法について検討し、LED化は実施しない向で良いと思う	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
厳しい財政状況の中で、必要性は認められるものの、大・中規模の整備は現時点では困難であるため、施設の重要度や緊急度、優先度などを総合的に勘案し、現実的な範囲で身の丈に合った修繕の実施。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	島田 明子
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3630		
事務事業名		4317 生涯学習推進事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100608 教育費・社会教育費・生涯学習推進費										
	事業	010000 生涯学習推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
<ul style="list-style-type: none"> ・住民に分かりやすく楽しく学ぶイベントを、民間団体や学校とネットワークをつくり発信する。 ・地域学、地元学で地域の良さを活かす方法を探る。 						<ul style="list-style-type: none"> ●地域の優れた人材活用と、住民が楽しく学習できる講座を提供する。 ●須坂の自然・歴史・文化などの良さを地域住民に知っていただき、須坂が好きになる学習機会の提供。 ●地域を見直し、まちづくりにどう活かせるかを考え、行動できる人々をつなげて行く。 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 ・組織の見直しによる事業や資源等の再検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携

指標名	出前講座の延べ受講者数					
算式						単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	3,000	4,000	5,000	6,000	8,000
	実績	2,559	3,433	7,720	5,077	
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ。					
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による受講者減を考慮					
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		14,594	15,297
特 定 財 源	国庫支出金	995	995
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	13	85
一般財源		13,586	14,217
人員数 (人)	正規職員	3.3	0.0
	会計年度(フル)	1.0	0.0
	会計年度(パート)	1.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	23,509.2	0.0
	会計年度(フル)	4,450.0	0.0
	会計年度(パート)	2,277.0	0.0
	計	30,236.2	0.0
市民一人当たりの経費		0.9	0.3
総額		44,830.2	15,297.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,217	講師謝礼391、謝礼388、記念品代438
10節 需用費	1,351	消耗品費498、食料費35、印刷製本費818
12節 委託費	2,377	成人式インターネット同時配信369 イベント実施委託料1,990 その他18
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	402	長野県社会教育委員連絡協議会負担金9、北信地区社会教育委員連絡協議会負担金12、自治体パートナー50、婦人会補助金300、長野地域連携31
その他	9,247	報酬 2,380 給料 2,720 職員手当 1,614 共済費 1,146 その他1,387

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,362	講師謝礼425、謝礼294、記念品代外643
10節 需用費	960	消耗品費448、食料費20、印刷製本費492
12節 委託費	2,499	委託料2,499
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	415	負担金115、補助金300
その他	10,061	報酬 2,627 給料 2,734 職員手当2,041 共済費1,232 その他1,427

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	地域の交流事業として浸透していくように、8月に「ポッチャ体験会」、3月に公民館研究集会事業として、公民分館役員研修会を兼ねて公民分館長会と共催し「ポッチャ審判員講習会」を行った。また、コロナ禍が明け復活事業として7月に「せせらぎサイエンス」を行った。他には、8月に満蒙開拓平和記念館見学会（夏休みこどもウィーク）3月に満蒙開拓平和記念館見学会、10月に「なぞときFUNロゲイニング」、11月に「障がい者料理教室」、2月に「バク転に挑戦しよう」など新規事業を積極的に行った。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	「ポッチャ」の体験会及び審判講習会を行えたことで、広く市民へ浸透していくきっかけとなった。また、様々な講座や見学会を行ったことにより、市民が様々な角度から学習を深めることができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	講師謝礼を抑えるため、できる限り市内の講師に依頼する事や、生涯学習推進員に無料で講師を依頼することを計画していき、コスト削減に努めていきたい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

講師謝礼の削減を念頭に入れ、創意工夫を凝らした中で、魅力ある新規事業に努めていきたい。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
市民学園など既存の事業に時間を取られてしまい、各地域公民館へ指導ができないので、各地域公民館の主事等へ新規講座等の情報と指導をしていった方が良いと思う	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
2次評価コメント	
「学び」を基盤に、「ひとづくり」「つながりづくり」「地域づくり」を推進するとともに、事業の日時や内容を見直し、誰もが参加しやすい魅力的な事業への刷新を図る。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	杉山
全体計画						経費区分	部局長裁量枠			内線	3630	
事務事業名		15903 生涯学習センター管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100609 教育費・社会教育費・生涯学習センター費										
	事業	010000 生涯学習センター管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。生涯学習センターの施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。 施設修繕や備品等の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行い、維持管理費の長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上を図る。 また、全施設において冷暖房等使用料の実費を徴収している。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施した。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施した。照明のLED化を進め、経費削減、施設環境の整備を図った。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。

指 標 名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数					
算 式						単位 人
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					180,000
	実 績	81,251	99,652	141,790	147,004	
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ					
最終年度 目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による利用者減を考慮					
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		28,943	29,165
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	697	930
一般財源		28,246	28,235
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.3	1.2
人 員 コスト	正規職員	4,274.4	3,562.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2,960.1	2,732.4
	計	7,234.5	6,294.4
市民一人当たりの経費		0.7	0.7
総額		36,177.5	35,459.4

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	6,696	消耗品費964、燃料費341、光熱水費4,251、修繕料1,057、印刷製本費82
12節 委託費	1,750	清掃業務213、電話保守64、自動扉保守53、エレベーター保守818、事務機器保守257、電気保安298、シルバー管理46
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	20,497	報酬10,343、職員手当3,083、共済費1,256、旅費302、役務費639、使用料及び賃借料4,394、原材料5、備品474

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,932	消耗品費845、燃料費312、印刷製本費45、光熱水費3,930、修繕料800
12節 委託費	3,135	清掃業務312、電話保守64、自動扉保守53、エレベーター保守819、事務機器保守264、電気保安264、シルバー管理1,359
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	20,098	会計年度任用職員報酬9,533、職員手当2,917、共済費1,295、旅費347、役務費678、使用料及び賃借料4,600、原材料29、備品690、公課費9

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の生涯学習を推進する拠点として安全・安心して使用できる施設の維持管理につとめる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	個人利用の試行、コミュニティスペース・子ども学習室の常設など利用増に向けて取り組んでいる	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	受益者負担見直しについては今後検討する。 照明器具のLED化、西館解体などの課題が残る。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生涯学習センターを有効に利用していただくために貸し部屋の料金を設定する必要がある

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント	
貸し部屋の料金を設定して使用団体等を増やす事により公共施設の有効活用を図りたい。子ども学習室やコミュニティスペースも継続して開放していきたい	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
2次評価コメント	
各世代が利用しやすく、市民が気軽に立ち寄れる居場所となるよう、施設の管理運営を進めていく必要。貸し部屋の料金を適正に設定し、使用団体の利用を促進し、公共施設の有効活用につなげていくことが必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	杉山
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3630	
事務事業名		17683 生涯学習センター整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100609 教育費・社会教育費・生涯学習センター費										
	事業	020000 生涯学習センター整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
施設の老朽化に伴う改修等						<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターは、今後も市民との共創や地域づくり等、地域振興の拠点施設として必要であり、維持改修を計画的に行う。 ・老朽化した照明のLED化を行い、灯具の発火抑止、電力消費量の軽減を図る。 ・西館等の工事を行い、市民の安全を守る 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
西館等解体設計業務委託	西館及び団体事務室等の取り壊しを行い、跡地に駐車場と防災倉庫を整備する

指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		3,740	0
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	3,700	0
	その他	0	0
一般財源		40	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		3,740.0	0.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	3,740	西館解体工事設計業務委託料 3,740
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	やや低い
評価コメント	事業先送り	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	事業先送り	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	事業先送り	

振り返り（決算年度の取組み課題）

西館等の老朽化と駐車場不足により、西館等解体、駐車場整備工事の設計を実施したが、令和7年度にLED化工事等をはじめ西館等解体、駐車場整備工事の先送りになり、財源をはじめ今後の見通しがたっていない

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
財源の見通しがないため西館を閉鎖して物置として利用する。またLED化については、修繕予算の範囲内で長期的な視点で更新を行う予定	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
厳しい財政状況の中で、生涯学習拠点施設として必要性は認められるものの、大・中規模の整備は現時点では困難であるため、施設の重要度や緊急度、優先度などを総合的に勘案し、現実的な範囲で身の丈に合った修繕の実施。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	杉山
全体計画						経費区分	部局長裁量枠			内線	3630	
事務事業名		4758 旧上高井郡役所管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100611 教育費・社会教育費・旧上高井郡役所費										
	事業	010000 旧上高井郡役所管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
文化財としての保存と、歴史的建造物としての特性を活かしながら、多くの市民の方に親しまれる施設として活用できるように適切な維持管理を行う。						歴史的建造物（市指定有形文化財）である旧上高井郡役所を、市民の交流施設として活用する。 また、文書館が保管収集している古文書の公開、更には蔵の町並みキャンパスの拠点として利用される当施設の維持管理を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。

指標名	旧上高井郡役所の延べ使用者数					
算式						単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	10,000	12,000	16,000	16,000	16,000
	実績	9,857	13,413	17,049	16,573	
指標選定の理由	近年値を参考に設定した。 参考 平成29年度15,952人、平成30年18,886人、2019年度 17,368人、2020年度 9,260人					
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		12,655	11,607
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,606	900
一般財源		11,049	10,707
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.0	1.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2,277.0	2,277.0
	計	2,277.0	2,277.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,932.0	13,884.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,044	消耗品費167、燃料費230、光熱水費1,157、修繕料490
12節 委託費	6,051	害虫駆除業務委託761、樹木伐採業務委託137、日直業務委託5,094、除草等業務委託59
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,560	会計年度任用職員報酬2,429、職員手当等875、共済費522、旅費85、役務費229、使用料及び賃借料180、備品購入費240

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,066	消耗品費216、燃料費205、光熱水費1,095、修繕料550
12節 委託費	5,121	日直業務委4,841、除草等業務委託94、樹木伐採等業務委託185
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,420	会計年度任用職員報酬2,516、職員手当等883、共済費531、旅費86、役務費219、使用料及び賃借料185

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の交流施設として多様な用途に用いられた	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	市民が安全安心に使用できる施設として維持管理に努めた	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	使用料の見直しを行う予定	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市指定文化財の有効活用を図るために貸館業務に務めた。使用者数も16,000程度でコスプレ撮影やダンスなど幅広く利用の幅が広がっている。激しい運動系の使用については、床組の構造が耐えられない恐れがあり使用制限をする必要がある

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント	
市指定文化財を維持するために貸館業務を文化スポーツ課へ移管するように検討中	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
市指定文化財の保存を図るとともに、市民の皆様に有効に活用いただける施設とするため、管理を文化スポーツ課へ移管することについて検討を進める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	杉山
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3630	
事務事業名		17684 旧上高井郡役所整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100611 教育費・社会教育費・旧上高井郡役所費										
	事業	980000 旧上高井郡役所整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
施設の老朽化に伴う改修等						文化財である旧上高井郡役所の保存に伴い、市民の交流の場として今後も活用するため、維持改修を計画的に行う。 ・老朽化した照明のLED化を行い、灯具の発火抑止、電力消費量の軽減を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
照明器具のLED化	

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		5,720	0
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	5,100	0
	その他	0	0
一般財源		620	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		5,720.0	0.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	495	照明器具LED化工事設計業務委託495
14節 工事請負費	5,225	昭栄器具LED化工事費5,225
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評 価 コメント	照明器具の更新が完了した	
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評 価 コメント	貸館の利便性向上に寄与した	
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評 価 コメント	照明器具のLED化により電力消費量の軽減を図った。 受益者負担見直しについては今後検討する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

LED化工事により二酸化炭素削減、消費電力削減、使用者の活動が快適に過ごせる施設に務めた

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント	
市指定文化財であるが予算が確保できないため外壁塗装などの維持管理費が増大する傾向にある	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
厳しい財政状況の中で、必要性は認められるものの、大・中規模の整備は現時点では困難であるため、施設の重要度や緊急度、優先度などを総合的に勘案し、現実的な範囲で身の丈に合った修繕の実施。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	